



谷川連峰・茂倉岳

ササ原に建つ快適な小屋

茂倉岳避難小屋

Shigekuradake-Hinangoya

☆☆☆☆

築年 1994年(平成6)

収容人数 20人

茂倉岳は、谷川連峰の盟主谷川岳トマノ耳から北へ約2kmの稜線上にあり、谷川連峰では仙ノ倉山に次いで第2位の標高であるが、穏やかな女性的な山なので、陰に隠れた存在といえる。

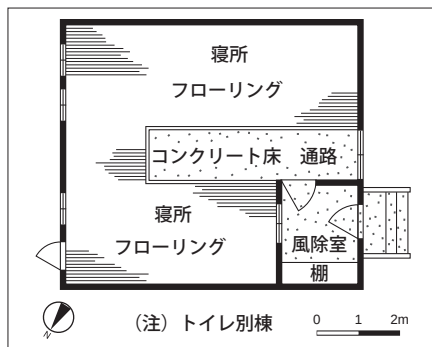
茂倉岳避難小屋は、山頂から土樽へのコース(茂倉新道)を西へ10分ほど下った茂倉岳の肩に建つ立派な避難小屋だ。

小屋周辺は一面ササ原に覆われており、明るく解放感がある。小屋前方に谷川岳から仙ノ倉山へ連なる稜線の山々、右遠方には台地上の苗場山など素晴らしい眺望が得られる。

なお、この山域には水場がほとんどないので水場のある避難小屋としてたいへん貴重だ。



オキノ耳から茂倉岳(左)と一ノ倉岳(右)



清潔な小屋内部

位置 ● 谷川連峰の盟主谷川岳トマノ耳から北へ約2kmの茂倉岳山頂から土樽へのコース(茂倉新道)を西へ下った茂倉岳の肩(標高1880m)に位置する。東の一ノ倉岳避難小屋から30分、肩ノ小屋からだ1時間50分である。なお、茂倉新道の起点JR上越線土樽駅から4時間40分である。

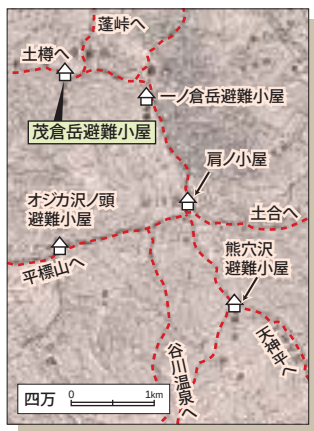
小屋構造 ● 将棋駒型・木造平屋建、床面:フローリング、外装・屋根:カラー鋼板

管理 ● 通年無人開放(月1回・蓬ヒュッテの管理人巡回) 維持協力費として志を金属チップ箱に入れる

備品 ● 掃除用具

水場 ● 小屋裏手へ50m下る谷水(往復3分)

トイレ ● 別棟



問合せ先 新潟県湯沢町役場 商工観光課 0257-84-4850/蓬ヒュッテ管理人(蓬ヒュッテの項参照)